

2022.04.25(月)



# Pre Stockholm+50 Youth Conference

一般社団法人Change Our Next Decade  
代表理事 矢動丸琴子



# ∴ Change Our Next Decade (COND)



## VISION

人と自然がより良い関係で共生できる社会の構築

- 2019年8月、CBD-COP15に向け若者としてアクションを起こすために設立  
→ 2021年8月に一般社団法人化
- 生物多様性の分野に関わる若者を増加させ環境分野を主流化することを目指す
- 「生物多様性保全」に向け本気で行動したい日本各地の若者10名程度で構成
- WIN WIN Sustainability Youth Award 2020ノミネート



なぜ

生物多様性保全に

取り組むのか？

# 生物多様性の損失は世界のリスクTOP5 :世界経済フォーラム

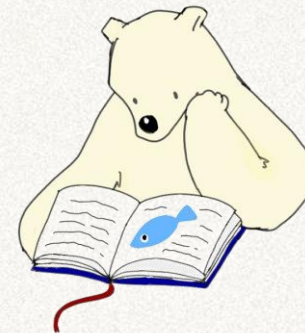
Top Global Risks by Impact



依然としてリスク

2020年で初ランクイン

今後10年間で  
負の影響を与えるリスク



# 日本の生物多様性の現状

日本の生物多様性及び生態系サービスの状態は、**過去 50 年間、長期的に損失・劣化傾向にあり**、その直接的な要因の影響が大きいまま推移していると報告されている\*

## 第1の危機

開発など人間活動  
による危機

## 第2の危機

自然に対する働き  
かけの縮小による  
危機

## 第3の危機

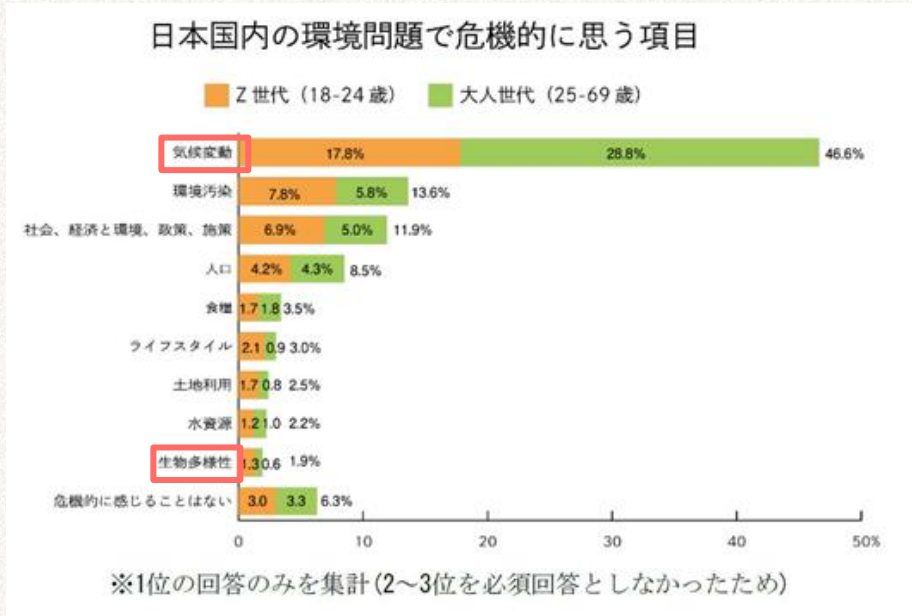
人間により持ち込ま  
れたもの(外来種  
等)による危機

## 第4の危機

地球環境の変化  
による危機

\* 環境省(2021) 生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2021 (JBO 3: Japan Biodiversity Outlook 3) <https://www.env.go.jp/press/files/jp/115844.pdf>  
生物多様性国家戦略2012-2020 [https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/initiatives/files/2012-2020/01\\_honbun.pdf](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/initiatives/files/2012-2020/01_honbun.pdf) より

# 日本人の環境危機意識調査の結果



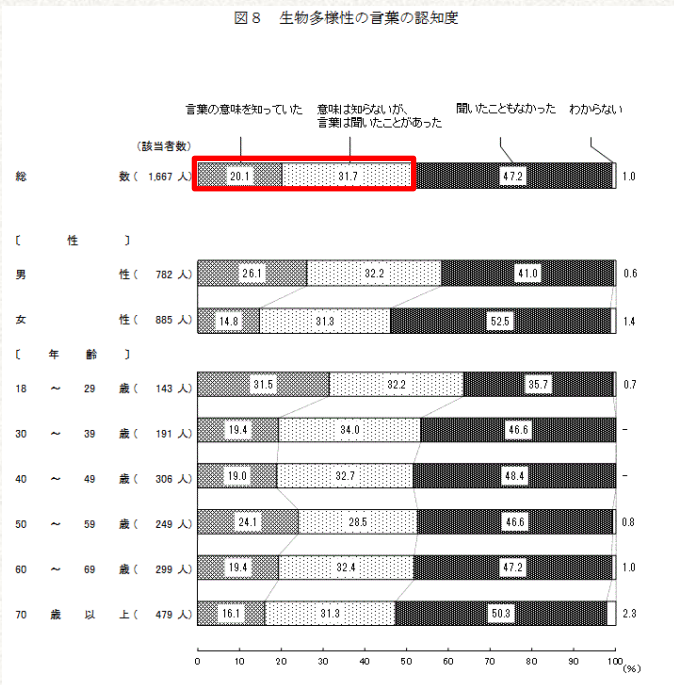
旭硝子財団(2020年) 日本人の環境危機意識調査  
[https://www.af-info.or.jp/ed\\_clock/jpsense\\_result.html](https://www.af-info.or.jp/ed_clock/jpsense_result.html)

気候変動 ➤ 46.6%  
生物多様性 ➤ 1.9%

気候変動と生物多様性には  
密接な相互作用があるにも関わらず  
日本人の危機感にはギャップがある

# 一般的な「生物多様性」の認知度

図8 生物多様性の言葉の認知度



言葉の意味を知っていた

➤ 20.1%

意味は知らないが、

言葉は聞いたことがあった

➤ 31.7%



生物多様性の認知度は50%程度！

2人に1人は聞いたこともない

内閣府(令和元年度) 環境問題に関する世論調査

<https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-kankyou/2-2.html>

# ∴ 止まらない「生物多様性の損失」

強い危機意識

外来種

絶滅危惧種増加

野生動物管理

漁獲量の減少

気候変動

海洋プラ問題

開発問題



問題たくさん・・・

わたしたちの生きる未来はどうなるの？！





なんとかしたい、行動を起こしたい  
わたしたちの生きる未来を守りたい！

わたしたちの る  
次の10年を変えたい！！

Change Our Next Decade

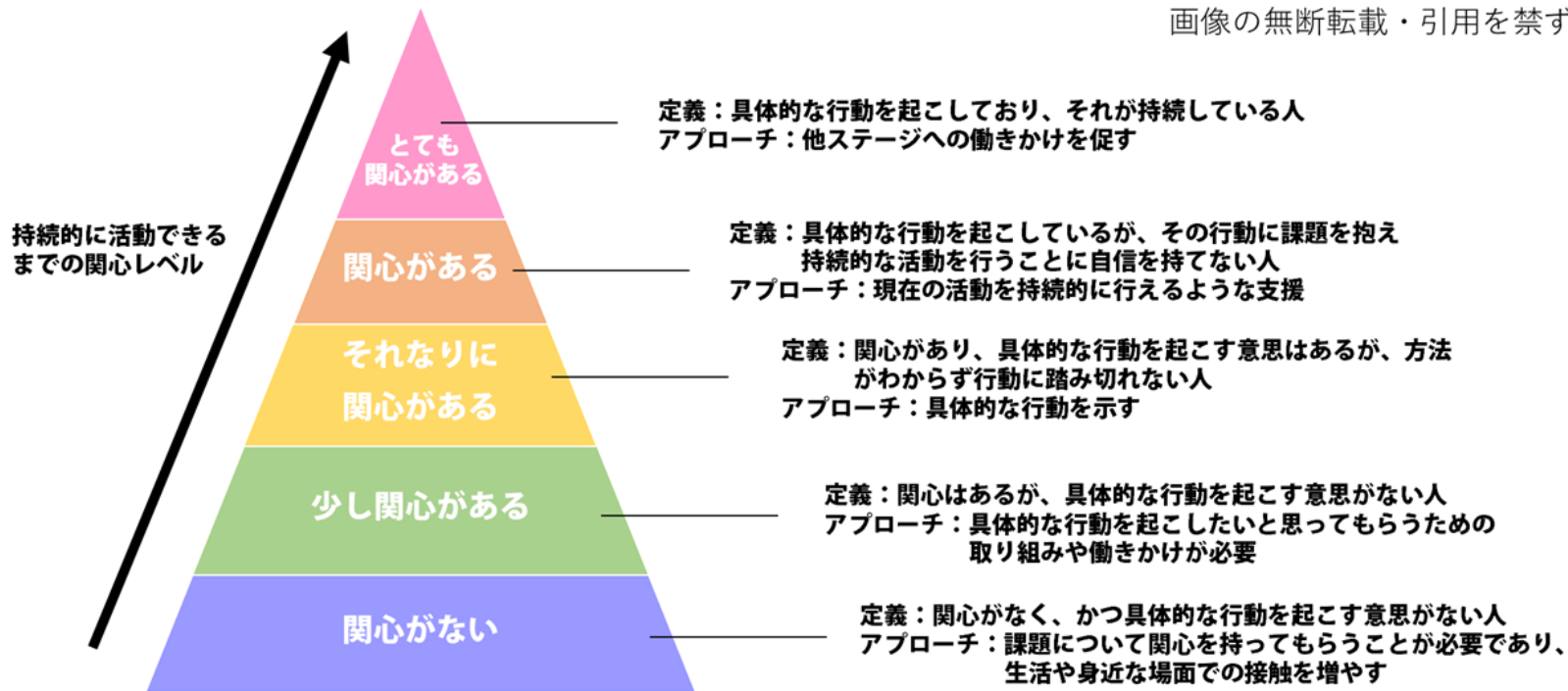


# CONDの活動

# COND行動変容モデル

©Change Our Next Decade

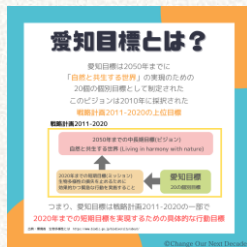
画像の無断転載・引用を禁ず



# 普及啓発(セミナー/イベント/発信)



- 生物多様性の日2020キャンペーン(動画配信、オンラインイベント)
- 生き物とSDGsを考えよう(オンラインセミナー)
- 生物多様性4つの危機を考えよう(第1・2の危機)(オンラインイベント)
- 清里ミーティングオンライン2020での企画ワークショップ
- ゆるっとCONDラジオ(YouTube配信)
- モーリシャスユース対談(オンラインイベント)
- IUCN GYS 模擬大臣級会合(オンラインイベント)
- 生物多様性ユース対談(オンラインイベント)
- 生物多様性の日2021キャンペーン(動画配信、オンラインイベント)
- 暮らす×遊ぶ×働く里山(オンラインイベント)
- 政策提言能力強化セミナー(オンラインセミナー)
- 次期生物多様性リーダー育成プログラム(オンラインセミナー)
- 清里ミーティングオンライン2021での企画ワークショップ



# ∴ 生物多様性ユースアンバサダー (2020年のみ)



- ✓ 54名の公募から31名を内定し、30名を任命
- ✓ 国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)が任命
- ✓ 北海道、関東、中部、近畿、中国、九州の6エリア全10チームに分かれ1年間活動を実施
- ✓ 地域が抱える生物多様性課題に取り組む
  - ・「国連生物多様性の10年」の振り返り
  - ・2021年以降のユース活動の仕組み等を検討

# モーリシャスユース協働



# 政策提言



- NGOグループとして「次期生物多様性国家戦略」に対する意見や論点となるポイントの提言
- IUCN-J主催NBSAPフォーラムで分科会を開催、環境省へ提言
- GYBNとともに生物多様性条約「ポスト2020枠組」への政策提言
- 2020年6月25日／2021年1月15日に開催された小泉大臣との意見交換会にも参加
- 東京都の地域戦略策定担当者と意見交換
- 2021年3月18日・22日に開催された「小泉大臣×Z世代意見交換」
- SDGs Youth Summit2021の関連で外務省への提言に参加
- 「日本版気候若者市民会議」に参加
- 「海洋生物多様性保全」に関する意見交換、提言提出
- 第40回東京都環境審議会企画政策部会にて提言
- 生物多様性国家戦略中央環境審議会第2回小委員会にて意見表明

# 生物多様性国家戦略を考えるフォーラム ONLINE 2022

2030〈ネイチャーポジティブ〉をめざして

## 次世代の海を多様性溢れる場所へ

～海洋生物多様性保全を多角的な環境問題から考える～

2022年5月12日(木) 13:00～15:00

参加  
募集

運営団体：一般社団法人Change Our Next Decade

主催：国際自然保護連合日本委員会 共催：日本自然保護協会、  
ラムサール・ネットワーク日本、Change Our Next Decade、  
UNDB市民ネットワーク、アースデイ・エブリデイ、野生生物保  
全論研究会 協力：環境省







# THANKS!

More Information

[secretariat.cond@gmail.com](mailto:secretariat.cond@gmail.com)



Please keep this slide for attribution

CREDITS: This presentation template was created by **Slidesgo**, including icons by **Flaticon** and infographics & images by **Freepik**

